

2023年12月

個人投資家様向け 会社説明会

東証スタンダード:9059

 **カンダホールディングス株式会社**

- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。

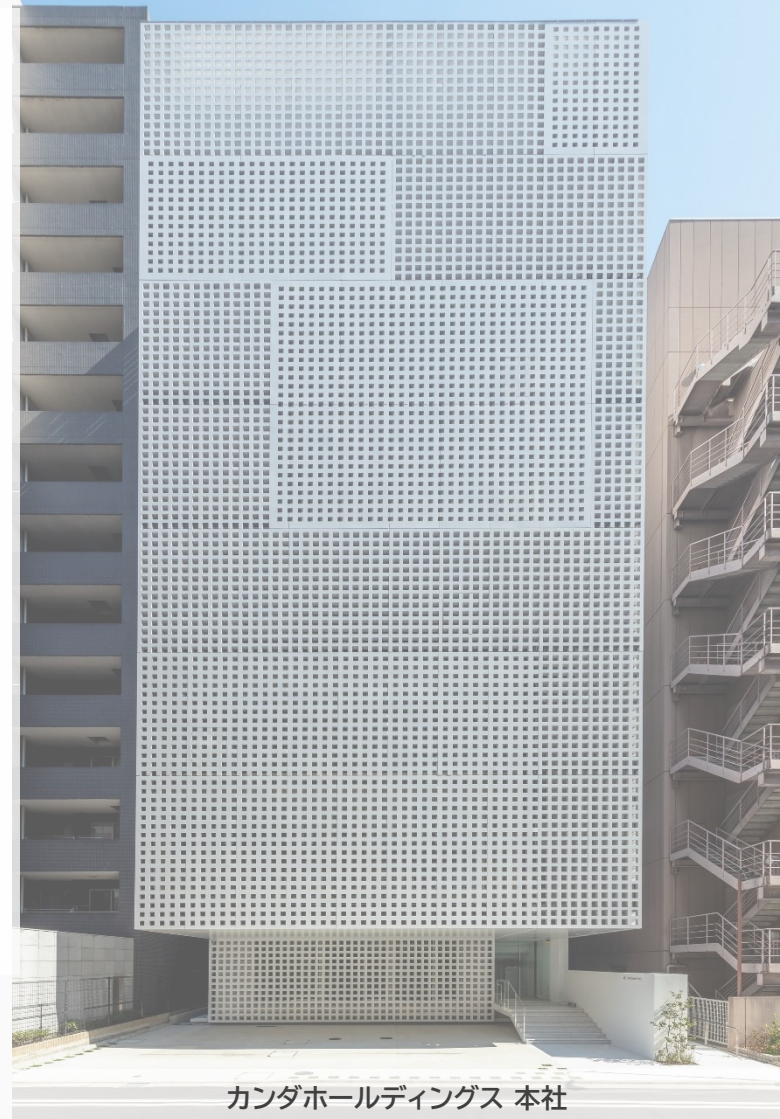
01. カンダグループの概要	
会社概要	5
会社沿革	6
グループ構成	7
拠点ネットワーク	8
02. 事業の概要	
事業の特徴	10
取扱品目別 営業収益構成比率	11
03. 2024年3月期第2四半期 連結決算概要	
連結決算推移（営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益）	13
2024年3月期第2四半期連結累計 決算概要	14
04. 株価と配当推移	
株価・配当推移	16
第2四半期連結累計 株価指標推移	17
PBR1.0倍に向けた対策①	18
PBR1.0倍に向けた対策②	19
記念配当と配当利回り	20

05. 2024年3月期の取組み	
2024年3月期 経営方針	22
創立80周年	23
物流2024年問題への対応①	24
物流2024年問題への対応②	25
物流DX(システム化・IT化)への取組み①	26
物流DX(システム化・IT化)への取組み②	27
物流DX(システム化・IT化)への取組み③	28
物流DX(システム化・IT化)への取組み④	29
06. ESG・SDGs	
ESG・SDGs	31
CSRLレポート2023	32
健康経営優良法人	33
働きやすい職場認証制度	34
女性活躍の推進	35
BCP	36
安全対策	37

01

カンダグループの概要

商号	カンダホールディングス 株式会社
本社所在地	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
創業	1943年11月
代表者	代表取締役社長 原島 藤壽
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結：2,819名（2023年9月末日現在）
グループ会社	26社（2023年9月末日現在）
市場区分	東京証券取引所スタンダード
証券コード	9059



カンダホールディングス 本社

創業期

1943年

東京都神田区内の運送会社
16社の統合により発足



1945年

定期路線便の構築



1963年

出版共同配送開始



1991年

カンダコーポレーション(株)へ
社名変更



運送業から物流業へ

1994年

日本証券業協会に
株式を店頭登録



2004年

東京証券取引所
市場第二部へ上場

2006年

流通加工会社
(株)モリコーをグループ化



2009年

持株会社制へ移行
カンダホールディングス(株)へ社名変更

2011年

(株)ペガサスパーセルサービスより
国際宅配事業部門を譲り受け
国際物流事業へ本格的に進出
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)



総合物流企業を目指して

2012年

(株)ハーバーマネジメントをグループ化
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)

タイ バンコクに現地法人を設立

流通加工会社 (株)ジェイピーエルをグループ化



2014年

国際海上貨物混載会社 ニュースターライン(株)と
ベルトランス(株)をグループ化



2015年

日本物流ネットワーク協力会(JLNA) 発足



2017年

低温輸送会社 (株)中村エンタープライズをグループ化



2020年

カンダリテールサポート(株)と
カンダビズパートナー(株)が事業開始



2021年

システム開発会社 (株)ソフトエイジをグループ化



2022年

重量物輸送会社 堀切運輸(株)をグループ化



2023年

創立80周年 記念式典開催



価値ある物流を未来へ

持株会社



カンダホールディングス株式会社

事業会社：国内物流/システム開発

カンダコーポレーション

カンダコアテクノ

カンダリテールサポート

ロジメディカル

カンダ物流

埼玉配送

神協運輸

ヤマナシ流通

アサクラ

名岐物流サービス

モリコー

関西配送

ジェイピーエル

中村エンタープライズ

ロジメック

ソフトエイジ

堀切運輸

事業会社：国際物流

ペガサスグローバルエクスプレス

ニュースターライン

ベルトランス

PGEタイ

機能分担会社

カンダビズパートナー

ケイ・コム

神田エンタープライズ

神田ファイナンス

カンダハーティーサービス

拠点ネットワーク

エリア別 事業拠点数

グループ合計 109 拠点

中四国 1
広島県 1

九州 1
福岡県 1

海外 1
バンコク(タイ) 1



関西 14
大阪府 7
兵庫県 4
京都府 2
三重県 1

中部 10
愛知県 8
山梨県 1
静岡県 1

東北 4
宮城県 3
岩手県 1

関東 78
埼玉県 27
東京都 23
群馬県 12
栃木県 6
千葉県 6
神奈川県 4



2023年9月末日現在

02 事業の概要

事業の特徴

■ 当社の強み

1つの業種・業態、企業に偏らない
幅広い営業基盤

総合力(庫内・輸配送・国際物流・情報システム)を活かした
複合的な物流体制

3,500社超のお客様に認められた
高品質できめの細かいサービス

■ サービスメニュー

国内物流 (庫内)



物流センター
(在庫型)



物流センター
(通過型)



流通加工



機密文書保管



社内メール
サービス

国内物流 (輸配送)



共同輸配送



チャーター便



冷蔵・冷凍輸送



現金・貴重品輸送
(CASHNET)



液体輸送
(ローリー)



建材輸送



介護輸送



宅配



重量物輸送



廃棄物収集運搬

国際物流



国際宅配



航空輸送



海上輸送



越境EC



現地法人

情報システム



データセンター



ソフトウェア開発



システム
ソリューション



WMS



Web EDI

取扱品目別 営業収益構成比率

2023年3月期 構成比率



	構成比率	(参考前年)
医療・薬品・HBC*	26.5%	26.4%
国際	25.0%	24.3%
食品	13.0%	14.3%
出版・印刷物	9.6%	11.1%
生活雑貨	7.7%	7.9%
現金・証券	7.5%	7.7%
段ボール原紙	2.5%	0.0%
不動産	1.7%	1.8%
システム開発保守**	1.5%	0.8%
その他	5.0%	5.8%

* HBC … Health&Beauty Care の略称で健康食品や美容品などが含まれます。

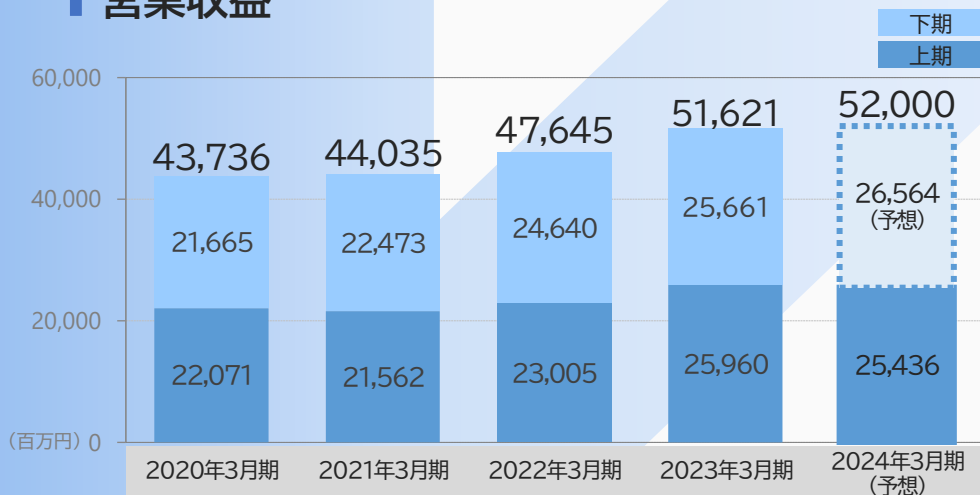
** システム開発保守 … (株)ソフトエイジのグループ化に伴い、新たにセグメント化しております。

▷ グループ化した2社(ソフトエイジは「システム開発保守」、堀切運輸は「段ボール原紙」)を新たに分類しております。

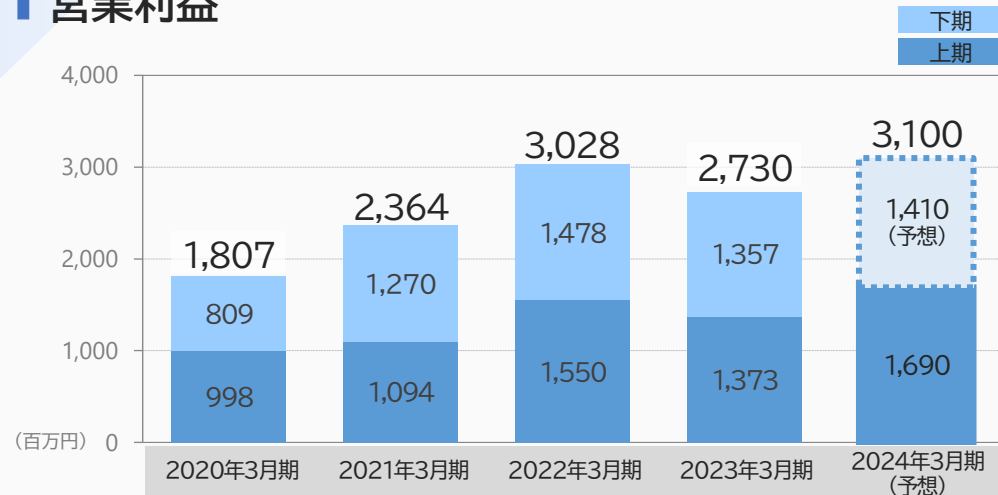
03 2024年3月期第2四半期 連結決算概要

連結決算推移

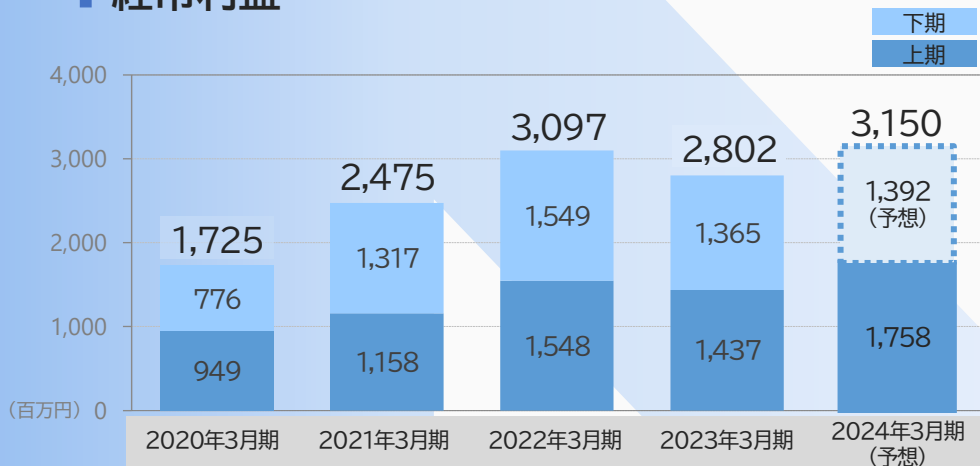
営業収益



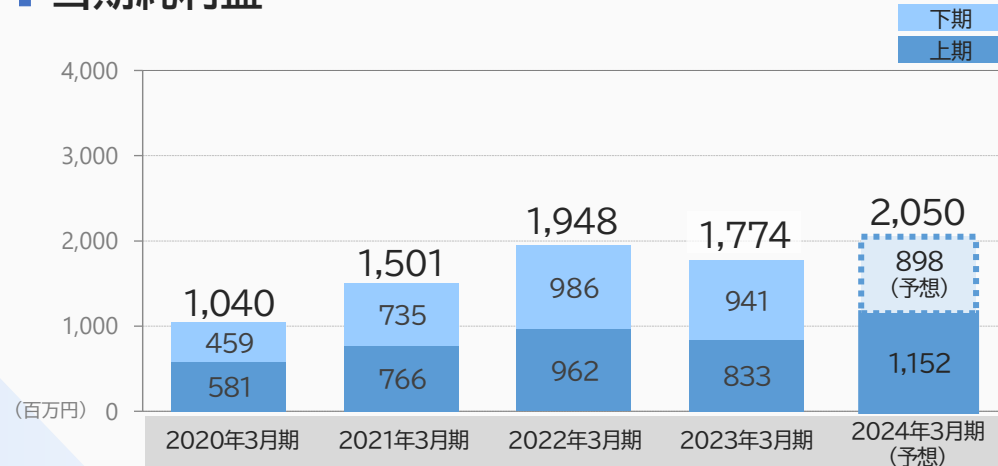
営業利益



経常利益



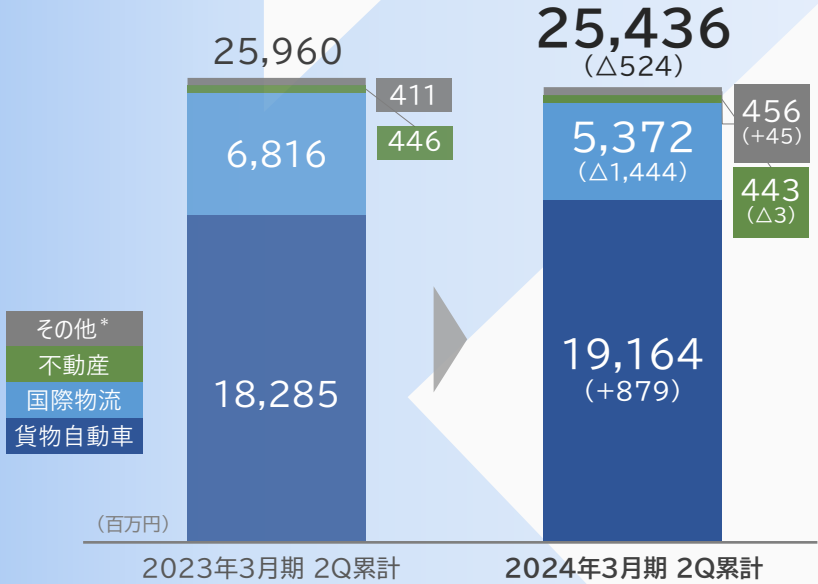
当期純利益



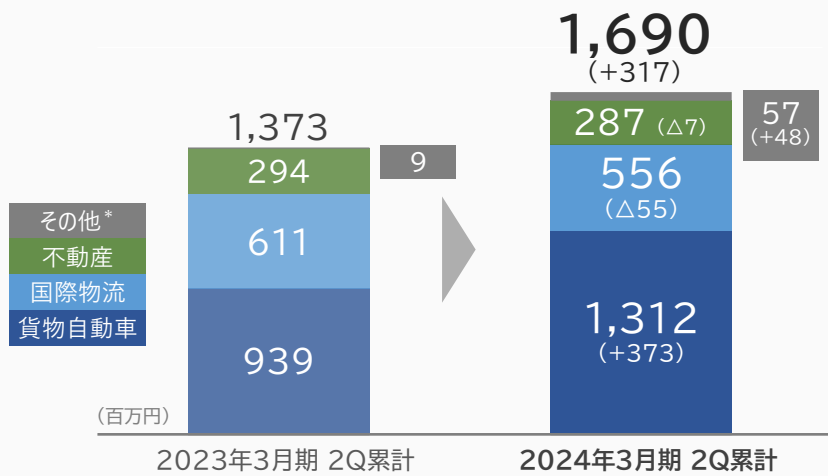
通期の収益は国際輸送の特需が終了し前年並みも、利益は国内で適正料金の収受が進み過去最高を見込んでおります。

■セグメント別業績（第2四半期累計実績）

〔 営業収益 〕



〔 営業利益 〕



*「その他」セグメント：リース業、コンピュータソフト開発保守業、
保険代理店業、部品販売業、太陽光発電業、清掃業、事務代行業の総額です。
*連結調整額：前期△480百万円 当期△522百万円

経済状況 (荷動き)	国内：コロナ禍に伴う行動制限が解除に向かい小幅ながら回復に向かう。 国際：ウクライナ紛争や中国経済の低迷等により全体的に停滞。
国内部門	前々期から獲得した新規業務、既存取引の業容拡大、M&A等の要因に加え、 各種コスト高を踏まえた適正料金の収受が進み前年同期比で増収増益となりました。
国際部門	全体的な荷動きの停滞に加え、前期に見られた世界的なコンテナ不足等による特需が解消されたことから 前年同期比で減収減益となりました。

04 株価と配当推移

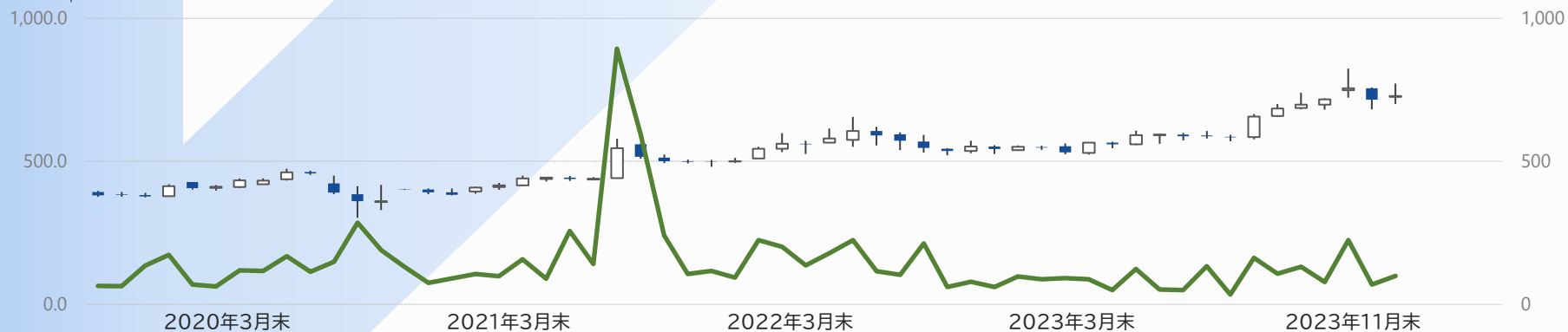
株価・配当推移

■ 株価・出来高

※本年6月30日、1株につき2株の割合で実施した株式分割に伴い、それ以前についても当時の2分の1の「株価」で表示しております。

左軸：■ 株価チャート(円)

右軸：— 出来高(千株)



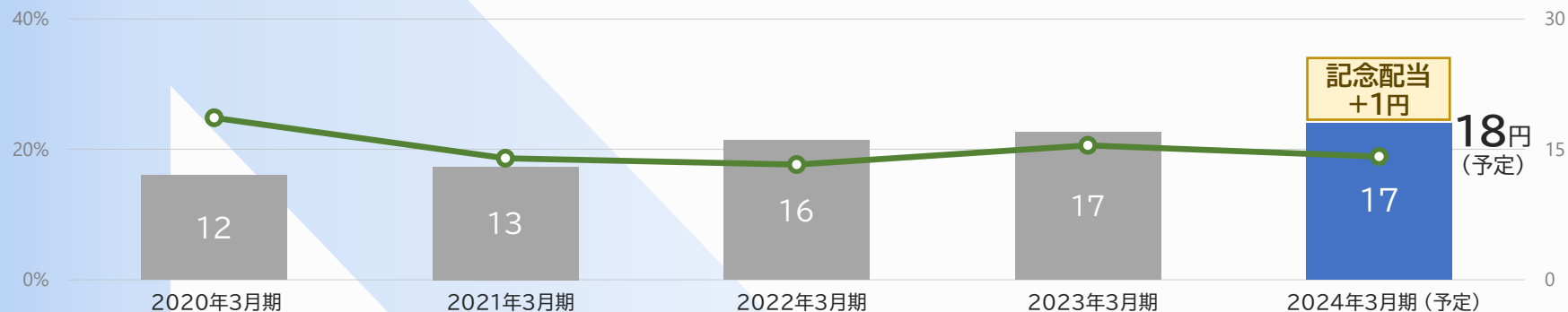
株価(終値)	360.5円	516.0円	546.5円	587.0円	728円
--------	--------	--------	--------	--------	------

■ 配当・配当性向

※株価と同様、「配当額」は当時の2分の1に置き換えて表示しております。

左軸：— 配当性向(%)

右軸：■ 1株あたり年間配当(円)



配当性向	24.8%	18.6%	17.7%	20.6%	18.9%
年間配当/株	12円	13円	16円	17円	18円

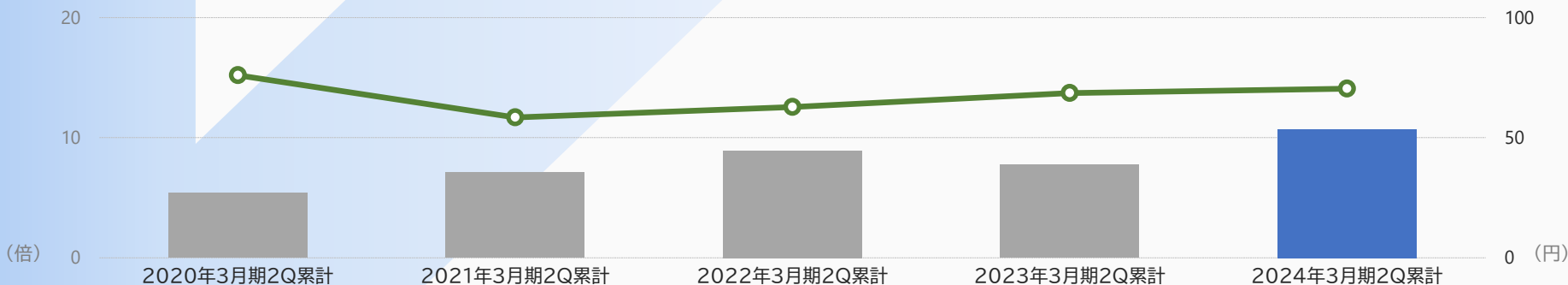
第2四半期連結累計 株価指標推移

PER・EPS

※EPSは株式分割に伴って当時の2倍の「発行済株式数」を用いて算出しております。

左軸: PER(株価収益率)

右軸: EPS(1株あたり純利益)



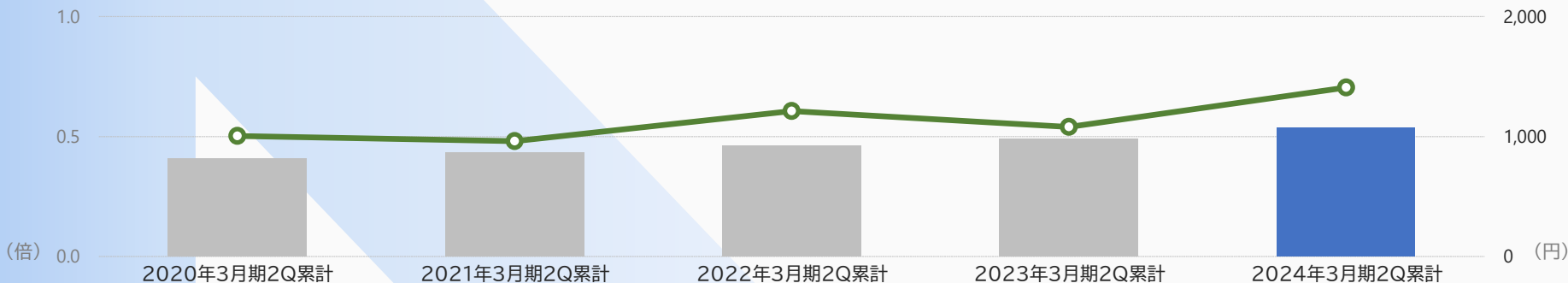
PER	15.2倍	11.7倍	12.5倍	13.7倍	14.1倍
EPS	26.99円	35.60円	44.71円	38.73円	53.61円

PBR・BPS

※BPSは株式分割に伴って当時の2倍の「発行済株式数」を用いて算出しております。

左軸: PBR(株価純資産倍率)

右軸: BPS(1株あたり純資産)



PBR	0.50倍	0.48倍	0.61倍	0.54倍	0.70倍
BPS	816.09円	864.45円	925.17円	983.01円	1,071.36円

PBR1.0倍に向けた対策①

■ 1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。[基準日:2023年6月30日]

目的	最低投資金額を引き下げるとともに、流通株式数の増加により株式の流動性を高めることで、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、株主数のさらなる増加を目的としております。
概要	2023年6月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

〔分割前〕



株価 1,456円×100株
= 145,600 円

〔分割後〕



株価 728円×100株
= 72,800 円

最低投資金額を引き下げること
より投資をやすく

※ 728円(2023年11月30日終値)の2倍(1,456円)を分割前の株価と仮定し、分割後(728円)と最低投資に要する金額を比較しております。

PBR1.0倍に向けた対策②

株主優待制度の一部拡充

株式分割後も株主優待の対象を100株以上に据え置くことで、優待制度を実質的に一部拡充させていただきました。

保有株式数	株主優待
100株以上（分割前50株以上）	図書カード 1,000円分
1,000株以上（分割前500株以上）	図書カード 2,000円分
2,000株以上（分割前1,000株以上）	図書カード 3,000円分
4,000株以上（分割前2,000株以上）	図書カード 4,000円分
6,000株以上（分割前3,000株以上）	図書カード 5,000円分

対象：毎年3月31日現在の弊社株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上保有の株主様



最低単元100株から
株主優待を贈呈

自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため自己株式を取得いたしました。

取得内容	
対象株式の種類	当社普通株式
取得株式の総数	100,000株
取得価額の総額	70,300,000円
取得日	2023年8月30日
取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け

株主還元
自己株式の取得

記念配当と配当利回り

80周年記念配当

	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2024年3月期 (予想)	9.5円	8.5円	18円
	普通配当 8.5円	普通配当 8.5円	普通配当 17円
	+記念配当 1円		+記念配当 1円

株主の皆様へ感謝を込めて
80周年記念配当の実施

対象：2023年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様または登録株式質権者様

配当利回り

[分割後]	単元株 100株を 株価 728円※ で購入いただくと… ※ 2023年11月30日終値	
	配当 1,800円 + 株主優待 1,000円 ▶ 実質配当金額 2,800円	配当利回り 3.85 %

05 2024年3月期の取組み

80年を超え500億を超えて 新カンダを皆で築いていこう

1. 新規業務の獲得

- ▷ 既存顧客の深耕はもとより、新たな顧客獲得を目指す



2. 新時代に合わせた明るい職場づくり

- ▷ コンプライアンスの強化
- ▷ 社内コミュニケーションの向上（80周年記念行事の開催）
- ▷ 時間管理の徹底（2024年問題への対応）
- ▷ 働き方・賃金の見直し
- ▷ CSR(企業の社会的責任)の推進（ESG経営・SDGs）



3. インフレ・人手不足時代に合わせた新たな取組み

- ▷ 適正運賃の確保
- ▷ 持続可能な協力会社の育成
- ▷ グループ会社の再編
- ▷ 採用・教育の強化
- ▷ 物流DXの推進
- ▷ M&Aの推進

4. 交通事故・労災事故削減

- ▷ 交通事故・労災事故削減



■ 2023年11月に創立80周年を迎え、東名阪の3カ所で記念式典を開催いたしました。



第41回カンダ祭り 会社創立80周年 記念式典

記念式典(首都圏)
+東京ドームシティチケット配布
参加者:830名



記念式典(首都圏)
永年勤続表彰



記念式典(中京)
+ナガシマリゾートチケット配布
参加者:114名



記念式典(関西)
+天保山マーケットプレイス チケット配布
参加者:212名



- ▶ 記念式典には従業員とそのご家族を招待し、各地のテーマパークチケットを配布いたしました。
- ▶ 首都圏ではOBと協力会社の皆様に感謝の気持ちを伝える場として、レセプションパーティーも開催いたしました。

物流2024年問題への対応①

■トラックドライバーの時間外労働上限規制(＝物流2024年問題)に向けて対策を行っております。

項目	取組み内容
勤務時間の集中管理	グループ統一の勤怠管理システムにより時間超過者の有無を集中管理。 月内で超過の恐れが見込まれる場合は管理者に対し通知を行う。
業務効率化	配車計画、動態管理等のシステムを導入し、運行を可視化。 事務作業の軽減により業務時間を短縮。
配送コースの再編	お客様と協議の上、納品条件の見直しや配送コースの組み替えを実施。 お客様へは共同配送や巡回集荷など更なる輸配送の効率化策をご提案。
人材確保	待遇の見直しと職場環境の整備により、定着率の向上と応募者の増加を目指す。 長時間労働を抑制するため適正車両台数の見直しとローテーション勤務を実施。
適正料金の収受	各種対策に伴う車両費、人件費の増加分や、高騰が続く燃料費などの コスト増要因に対する運賃改定を実施。
協力会社の管理強化	協力会社の現状を知るべくアンケートを実施。委託する運行が基準内に収まるよう、 双方で協議していくことを確認。 必要に応じて委託配送料の見直しを実施。

▶ 当社は、医薬品など生活に欠かせない荷物の取扱いが多いことから「物流を止めないこと」こそ果たすべき使命と考え、この「物流2024年問題」を解決すべき重要な課題として、お客様、協力会社様とともに取り組んでおります。

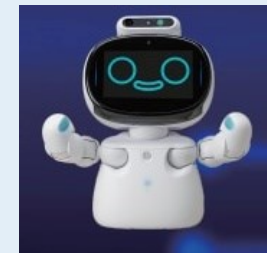
物流2024年問題への対応②

■ システムの導入による2024年問題対策も進めております。

自動 点呼システム

従来、運行管理者とドライバーが対面で行っていた点呼を
設置したロボットで代行するシステムです。（乗務後点呼のみ）

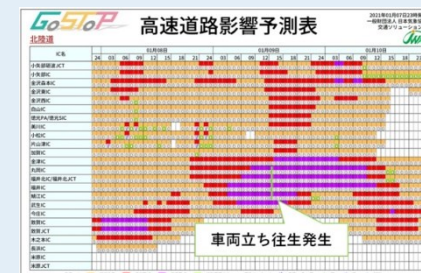
これにより運行管理者の負担軽減はもとより、ドライバーが点呼の時間や場所の制約から
解放されることで、長時間労働の抑制に繋がるものと期待をしております。



気象災害 マネジメント システム

本システムは、全国の高速道路に対して気象状況が輸送に与えるリスクを
WEB上で確認できるサービスです。

これをドライバーの安全確保に役立てるとともに、
気象状況に起因する長時間労働が抑制できるものと考えております。



安全運転 支援システム

点呼時におけるドライバーの健康状態測定データと、運行時の疲労度合データ、
ドライブレコーダーによるヒヤリハットデータを基に、AIが事故の発生リスクを算出し、
リアルタイムで管理者とドライバーに通知をすることで安全運転を促すシステムです。

これらの測定データと、車載器による位置情報や録画映像を一元的に管理することで、
ドライバーひとりひとりに合わせた最適な教育、指導を行うことが可能となります。



- ▶ 2024年問題については、新たなシステムも有効活用しながら解決に向けた取組みを進めております。
- ▶ 本取組みは、本来の目的である「ドライバーの労働環境改善」にもつながるものと考えております。

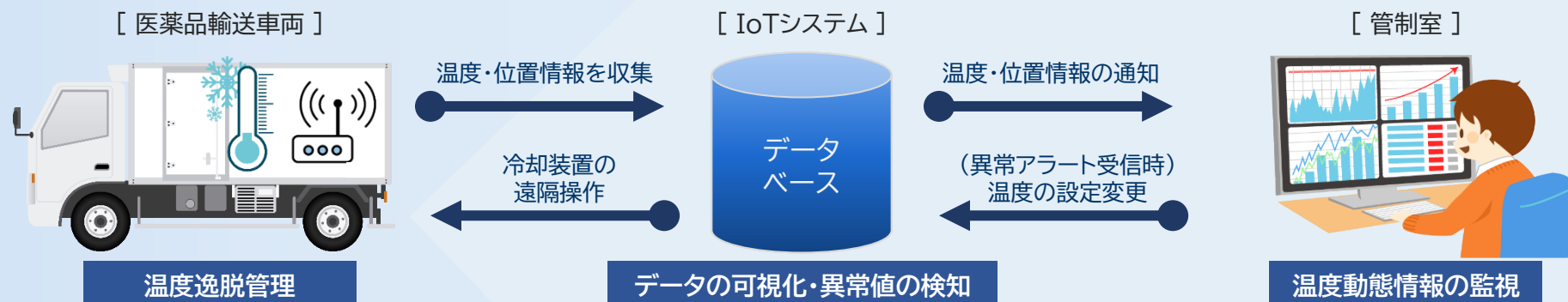
物流DX(システム化・IT化)への取組み①

■ GDP(医薬品の適正流通)ガイドラインに準拠した、IoT車両温度管理システムの導入を進めております。

[医薬品の適正流通(GDP)ガイドラインとは]

日本国内における医薬品の安全性保持を目的として、「輸送」や「流通」を適正に行うための手法を定める流通管理のガイドライン。

[IoT車両温度管理システム 概要図]



[当社GDP対応の推移(導入システムの高度化)]

- 1段階) 温度管理センサーが異常を検知しドライバーへ通報。 温度変更はドライバーが対応し、帰庫後に管理者へ報告。
- 2段階) 通知システムの導入により管理者が異常検知を一元管理。 温度変更は管理者から連絡を受けたドライバーが対応。
- 3段階) 本システムでは管理者による集中管理と温度の遠隔操作が可能。(ドライバーの負担軽減と対応の即時性向上)

- ▶ 製薬会社から医薬品卸を経て医療機関までの流通過程においてGDPに準拠した輸送体制を構築しております。
- ▶ 今後も、医薬品の適正流通に貢献するとともに、GDPに準拠した物流サービスを拡大すべく取り組んでまいります。

物流DX(システム化・IT化)への取組み②

■ 協働運搬ロボットの導入に向け準備を進めております。



機器	協働運搬ロボット(追従および自走)
目的	業務の自動化、省力化(働き方改革)
作業	主に前を歩く作業者に追従し、 荷物を積んだカートラック2～3台を搬送。
開始	2024年1月予定

- ▶ カートラックは非常に重く、その搬送経路も狭いため、作業者の負担を軽減すべく導入を決定いたしました。
- ▶ 今後も様々な省人省力化機器について、効果を見極めながら導入を進めてまいります。

物流DX(システム化・IT化)への取り組み③

■ バックオフィス業務のシステム化・IT化を推進しております。

SFA(営業支援システム)の刷新 (業務効率化)

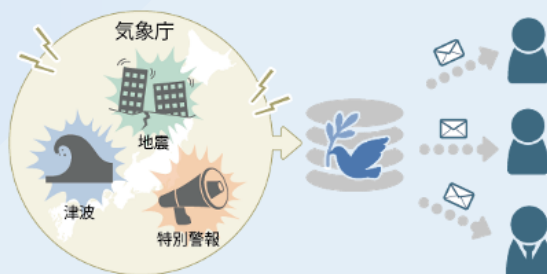


【期待される効果】

- ・ 業務の可視化
- ・ 営業進捗の共有
- ・ データの蓄積と有効活用

- ⇒ 新規業務の獲得
- ⇒ 既存業務の拡大

安否確認システムの導入 (BCP対応)



【期待される効果】

- 災害発生時における状況把握の
 - ・ 正確性向上
 - ・ 即時性向上

- ⇒ 従業員の安全確保
- ⇒ 事業再開に向けた対策の早期化

従業員サーバイシステムの導入 (従業員個人の状態可視化ツール)



【期待される効果】

- ・ データの蓄積、集計、分析
- ・ 従業員個人の考えを可視化
- ・ 組織の課題を抽出

- ⇒ 働きやすい職場作り
- ⇒ 従業員の定着率向上

- ▷ バックオフィスも含めたあらゆる業務においてシステム化・IT化を推進しております。
- ▷ それら収集した情報を有効活用することで業務の効率化を図り従業員の負担軽減につなげてまいります。

物流DX(システム化・IT化)への取組み④

■ その他、様々なシステムやITを導入・活用しながらビジネスの変革に取り組んでおります。

〔ドローン〕



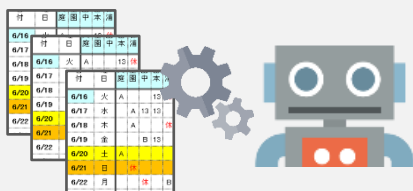
〔無人搬送ロボット(AGV)〕



〔釣銭作成ロボット〕



〔RPA〕



〔自立走行搬送ロボット(AMR)〕



〔重量検品機付きカートピッキングシステム〕



〔バス予約システム〕



〔全自動ポリ袋装着機〕



〔車両マッチングプラットフォーム〕

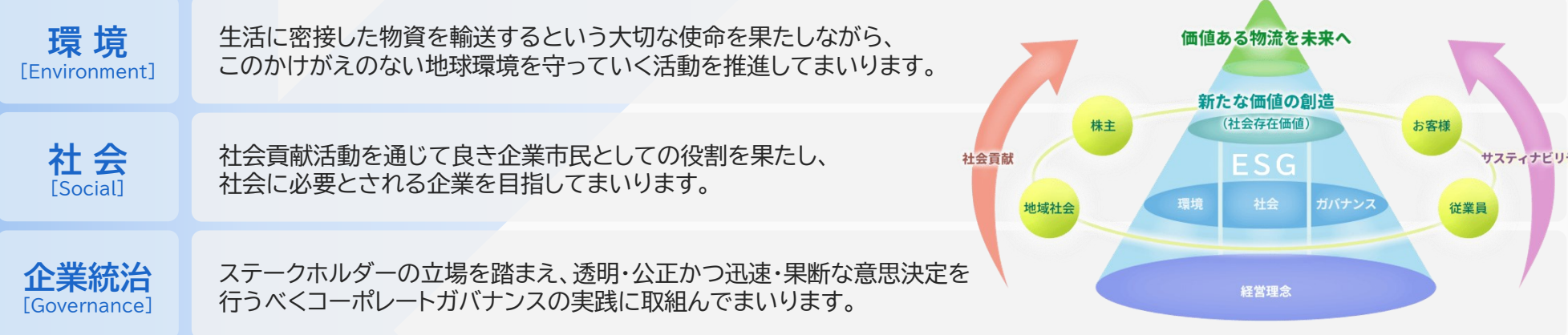


06

ESG・SDGs

■「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと、サステナブル経営を実践してまいります。

ESGの基本的な考え方



▷ ESGを経営の根幹と定め、会社の持続的成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

当社が推進する GOALS



▷ 環境や人に配慮した事業活動を通じ、新たな技術革新をしていくことで、GOALSの達成に向け貢献してまいります。

「物流を通じて社会の発展に貢献します」

■ カンダリテールサポートでは「健康経営優良法人認定」の取得に向けて取り組んでおります。

〔食生活の改善〕

- ・「オフィスでやさい」の導入



〔健康宣言の社内外への発信〕

- ・健康経営イベントへの参加



健康社長

カンダリテールサポート株式会社
代表取締役社長

高木清史
たかぎきよし

フォローする



〔運動機会の増進〕

- ・椅子をバランスボールに
- ・スタンディングにてミーティング



- ▶ 本取り組みによって、生産性向上や人材確保など様々なメリットに繋がるものと思っております。
- ▶ 今後も、従業員の健康に配慮し、従業員が働きやすい職場づくりに向けた取り組みを進めてまいります。

■ 制度化された「二つ星認証」において、申請していた全ての営業所で取得いたしました。

【認証取得状況】※グループ合計25営業所で「二つ星認証」を取得いたしました。

カンダコーポレーション(株) 5営業所（昨年の一つ星認証時から1営業所追加） / (株)カンダコアテクノ 7営業所
カンダリテールサポート(株) 4営業所 / カンダ物流(株) 8営業所 / (株)名岐物流サービス 1営業所

【二つ星認証の審査要件】

認証項目	判定内容（一部抜粋）
1. 法律遵守	労働基準法、36協定等の違反有無
2. 労働時間・休日	長時間労働の管理、休日取得への取組み状況
3. 心身の健康	健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況
4. 安心・安定	定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況
5. 多様な人材の確保・育成	運転免許取得支援制度の有無、女性運転手の働きやすさ
6. 自主性・先進性等 ★★	上記1～5における自主的、先進的な取組みの実施 ★★二つ星取得の追加要件



「働きやすい職場認証制度」とは・・・

自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省・厚生労働省が推進する取組みで、トラック運転手の労働条件・労働環境を認定団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度です。



- ▶ 本認証を、就職希望者に選ばれる企業、また従業員が長く働きたくなる企業の指標と考え、取組みを進めております。
- ▶ 今後も、より良い認証取得を目指して継続して取組んでまいります。

■ 2023年4月 「女性活躍推進法に基づく行動計画」を開示いたしました。

【カンダコーポレーション(株)の行動計画】

計画期間	2023年4月1日～2028年3月31日	
課題	▼ 営業所勤務の新入社員(総合職)が少ない ▼ 性別に対する固定的な役割分担意識が残っている ▼ 身体的負担が大きい作業が発生する ▼ 正社員における男女の平均勤続年数の差が大きい ▼ 子育て中の従業員をカバーする人手が不足している	
取組内容	● 営業所勤務の女性を選抜した「柔軟な働き方プロジェクトチーム」の結成 ● 配属先の営業所に向けた意識改革研修の実施 ● プロジェクトの内容精査と実行に向けた取りまとめ	● 各営業所の設備を女性目線で調査する ● 子育て支援の検討 ● 上記の精査と実行に向けた取りまとめ

【その他グループ会社の開示状況】

(株)カンダコアテクノ	2023年4月
カンダリテールサポート(株)	2023年4月
(株)ペガサスグローバルエクスプレス	2022年5月
(株)ロジメディカル	2022年4月
カンダ物流(株)	2022年4月



- ▶ 「柔軟な働き方プロジェクトチーム」は本年6月に結成され、活動を開始しております。
- ▶ 女性だけでなく、障がい者や外国人などすべての従業員が安心して長く働けるようダイバーシティを推進しております。

「物流を止めない」～災害への備え～

【基本方針】

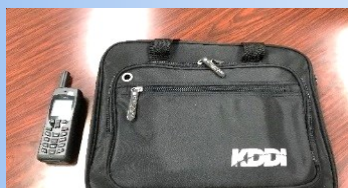
- 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- 地域社会の一員として貢献します。
- 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。



【 食料・飲料水の備蓄 】



【 データバックアップ 】



【 緊急時連絡体制（衛星携帯電話） 】



【 高耐震施設 】



【 非常用自家発電設備 】



【 燃料確保（インタンク） 】



【 非常食・非常用トイレの全車搭載 】

大雪や台風などにより車両が立ち往生してしまうことに備え、ドライバーの健康と安全を守るべく、トラックおよび営業車に非常食や非常用トイレを配置しております。



【 BCP研修会の実施 】

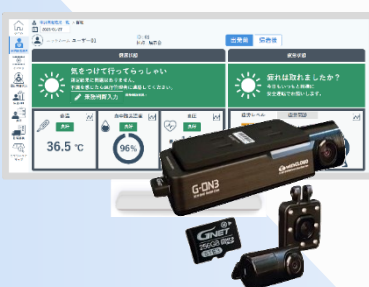
BCPへの理解を深めるため、グループ会社の役員を対象とした研修会を実施いたしました。

▶ 予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供による社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。

2024年3月期 運輸安全マネジメント

基本的な方針

- ① 安全と生命は全てに優先する
- ② 安全・確実・迅速の業務遂行
- ③ 安全管理体制と安全教育体制の強化



2023年9月より（公社）全日本トラック協会が推進する
安全性優良事業所認定制度（Gマーク認定制度）のPR活動とし
て、ラッピングされた弊社のトラックが運行しております。

2024年3月期 活動予定（一部抜粋）

- ・教育および整備計画を基幹システム上で一元管理
- ・運行管理者および補助者を対象とした研修会の実施
- ・安全講習会の実施
- ・運行管理者の資格取得支援講習会の実施
- ・初任運転者向け実車研修および安全教育の実施
- ・足利教育研修所を活用した実技指導の実施
- ・セーフティアドバイザー向け研修の実施
- ・運行管理のデジタル化推進（点呼補助ロボット、遠隔点呼システム）
- ・新型ドライブレコーダーの導入
- ・適性診断のラインナップ増加（受講可能人数の拡大）
- ・定期的な職場巡回を行い安全指導の実施
- ・SDカード（安全運転者カード）の取得推進
- ・Gマーク（安全性優良事業所認定）の取得推進
- ・上期および年末年始事故防止特別運動の実施
- ・健康起因事故の防止に向けた健康指導の実施
- ・先進安全運転支援機器の試験導入
- ・先進安全装置車両の導入
- ・グリーン・エコプロジェクトへの参加（エコドライブ活動の推進）
- ・動画KYTシステムによる安全教育の実施
- ・全国交通安全運動への参加

2024年3月期 安全対策費用

予算)11,000万円（2023年3月期実績 9,500万円）

本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等について記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取り巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらさうることがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

 **カンダホールディングス株式会社**

お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話：03-6327-1811(代) FAX：03-6327-1800

ホームページ：<https://kanda-web.co.jp/>

e-mail：hd-soumu@kanda-web.co.jp